



新光商事 株式
会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2025年3月期決算説明会資料

- 決算の概要
- 当社のビジネス状況
- 成長戦略
- 今期の見通しについて

2025年5月22日

代表取締役社長 小川 達哉

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・ 主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
（※米国の関税措置による影響含む）
- ・ エレクトロニクス産業の業界動向・技術トレンド等の変化
- ・ 当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ ドル等外国通貨の対円為替相場的大幅な変動

決算の概要

2025年3月期 決算のポイント

エレクトロニクス業界におきましては、世界的にA I 関連を除くと依然として需要は低調に推移しており、在庫調整が続きました。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）は、主要分野でいずれも前年同期比を下回る実績となりました。

決算概要 前期比

連結売上高・営業利益・経常利益・当期純利益の全てにおいて、前期比で減少。

(単位：百万円)

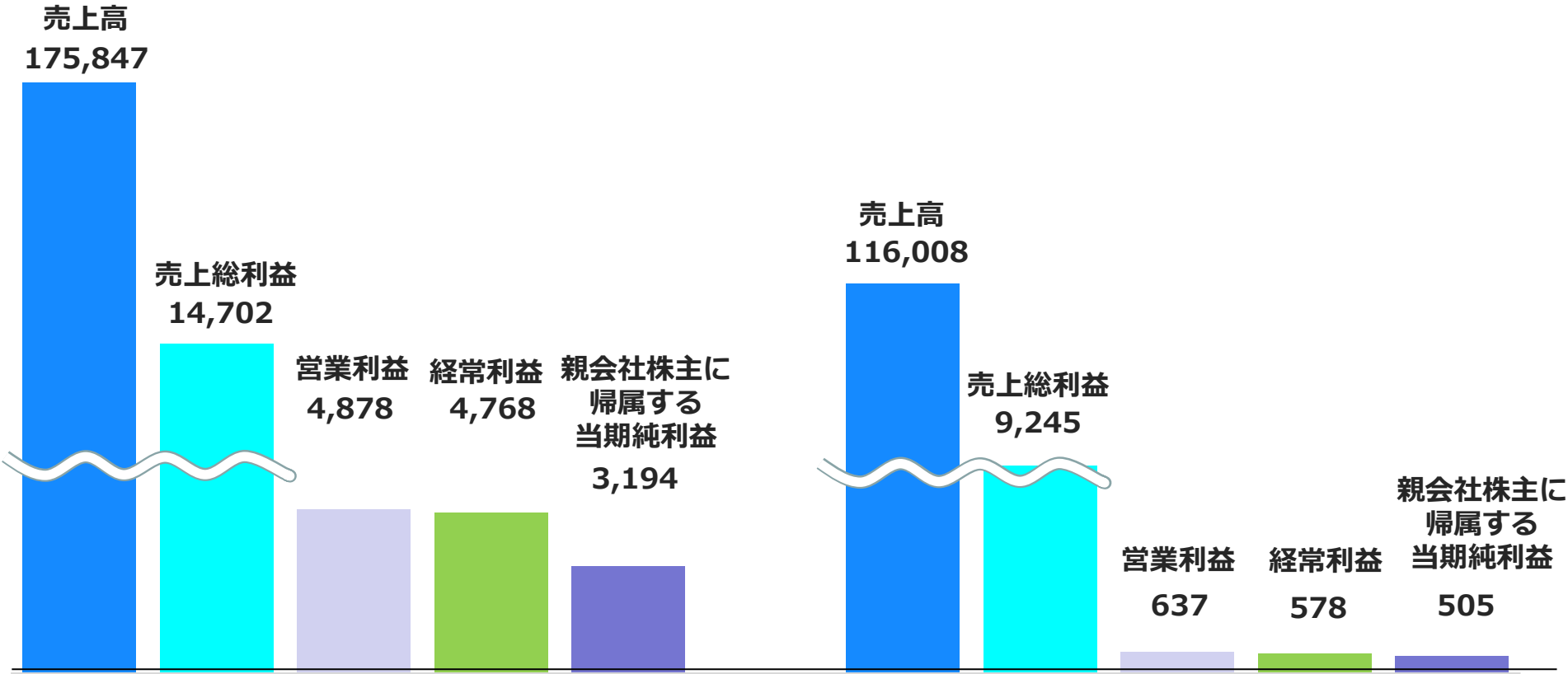
	2024年 3月期	2025年 3月期	前期比 (%)	前期比 (金額)
売上高	175,847	116,008	▼34.0%	▼59,839
売上総利益	14,702	9,245	▼37.1%	▼5,457
販管費	9,823	8,608	▼12.4%	▼1,215
営業利益	4,878	637	▼86.9%	▼4,241
経常利益	4,768	578	▼87.9%	▼4,190
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,194	505	▼84.2%	▼2,689
1株当たり 当期純利益	96円53銭	15円75銭	-	▼80円78銭
1株当たり 配当金 (年間)	中間26円50銭 期末22円00銭	中間 7円50銭 期末 8円00銭	-	-

連結損益計算書

(単位：百万円)

前期2024年3月期
(2023年4月1日～2024年3月31日)

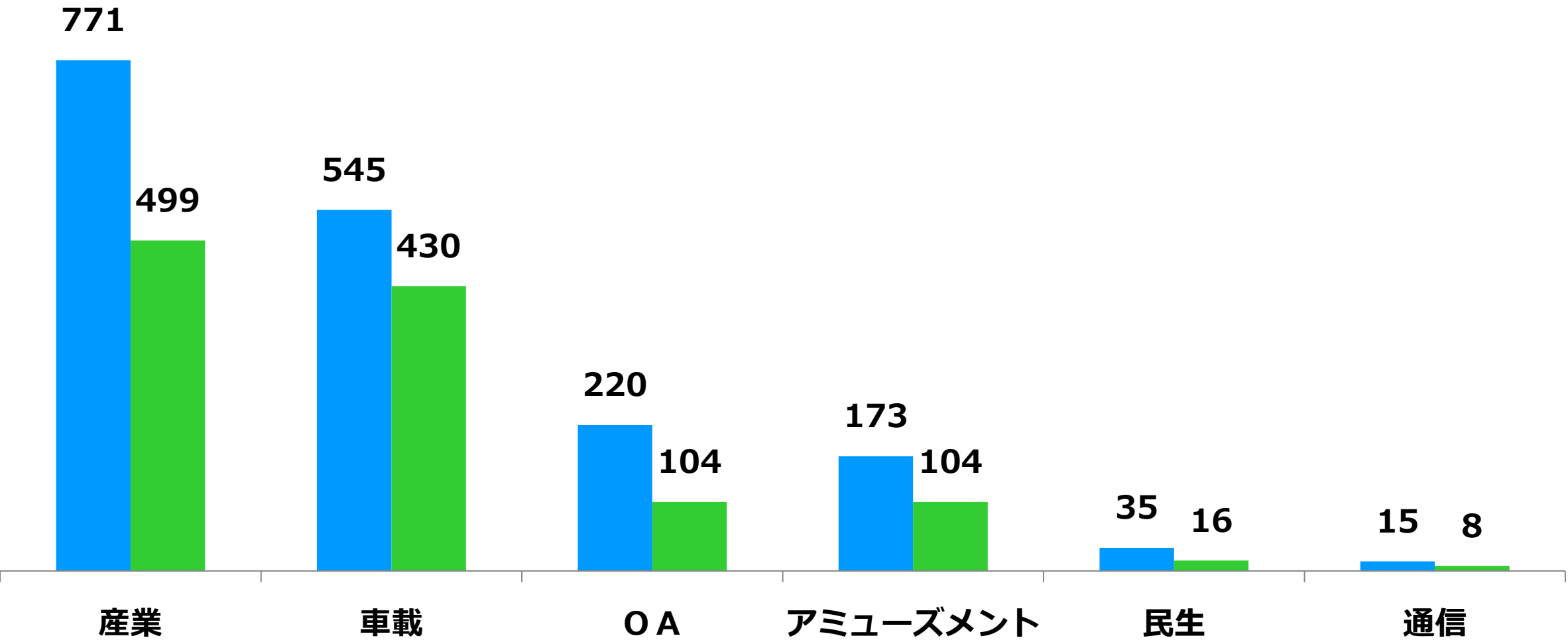
当期2025年3月期
(2024年4月1日～2025年3月31日)



分野別売上構成（金額対比）

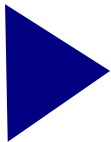
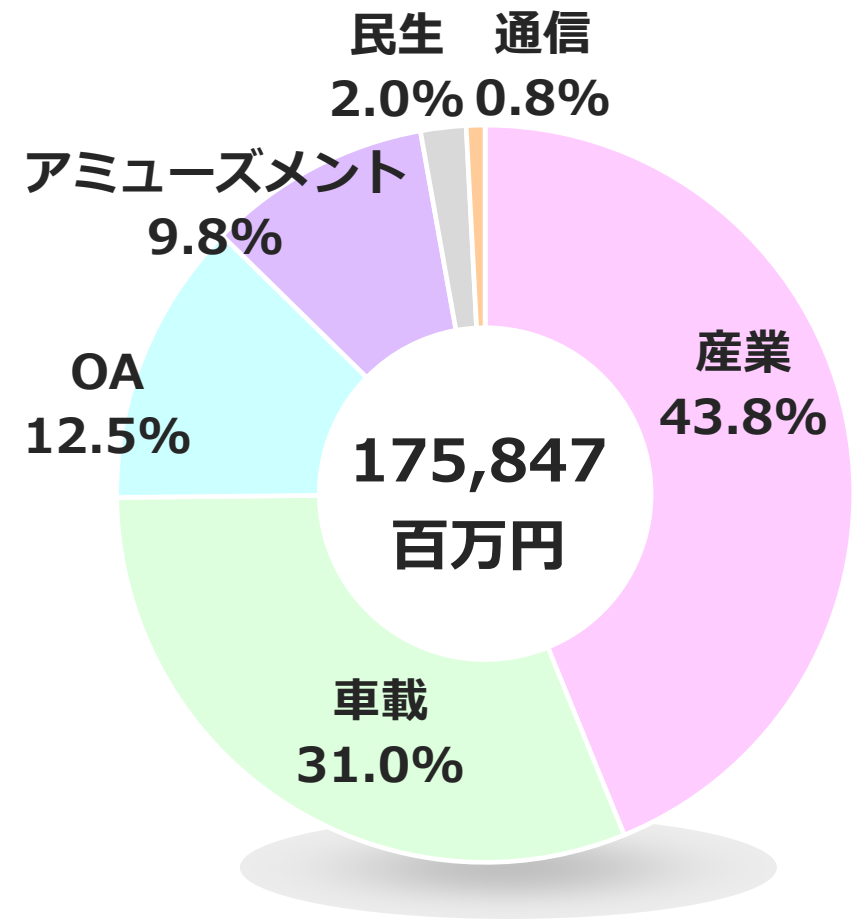
売上高：2025年3月期 1,160（▼598：前年同期比）（単位：億円）
2024年3月期 1,758

■ 2024年3月期 ■ 2025年3月期

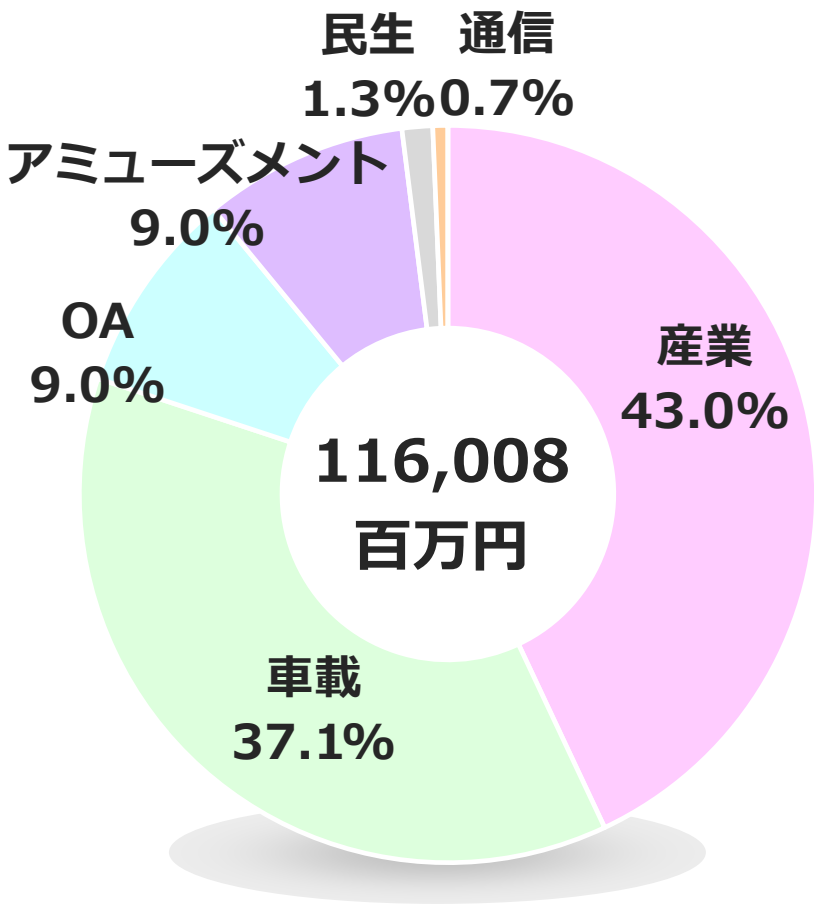


分野別売上構成

【2024年3月期】

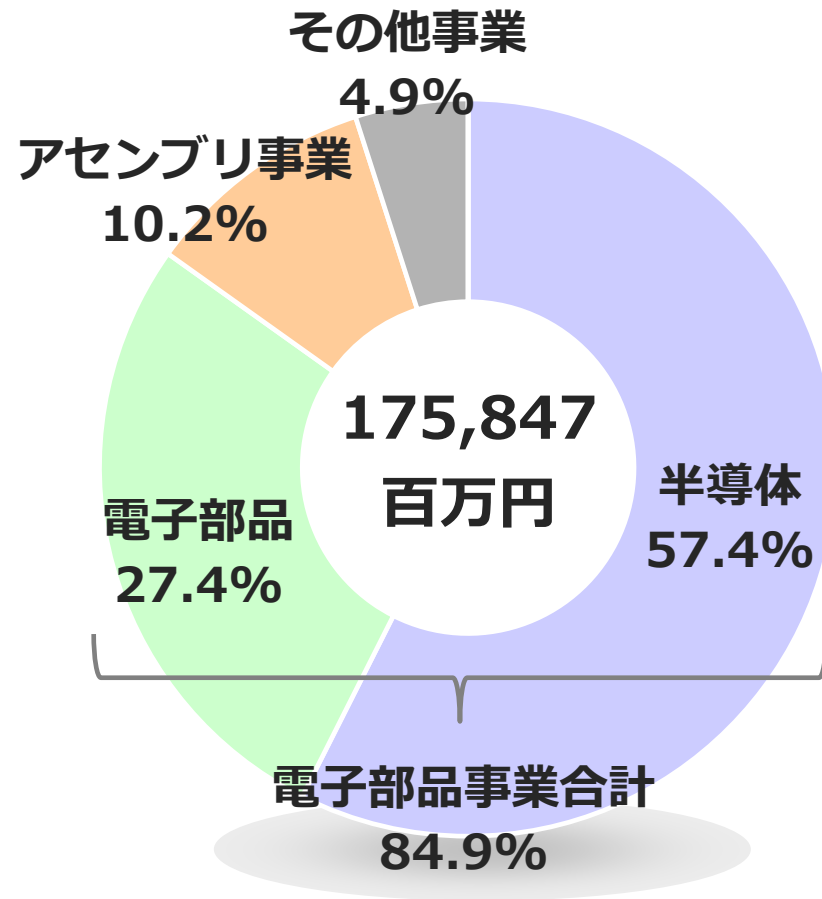


【2025年3月期】

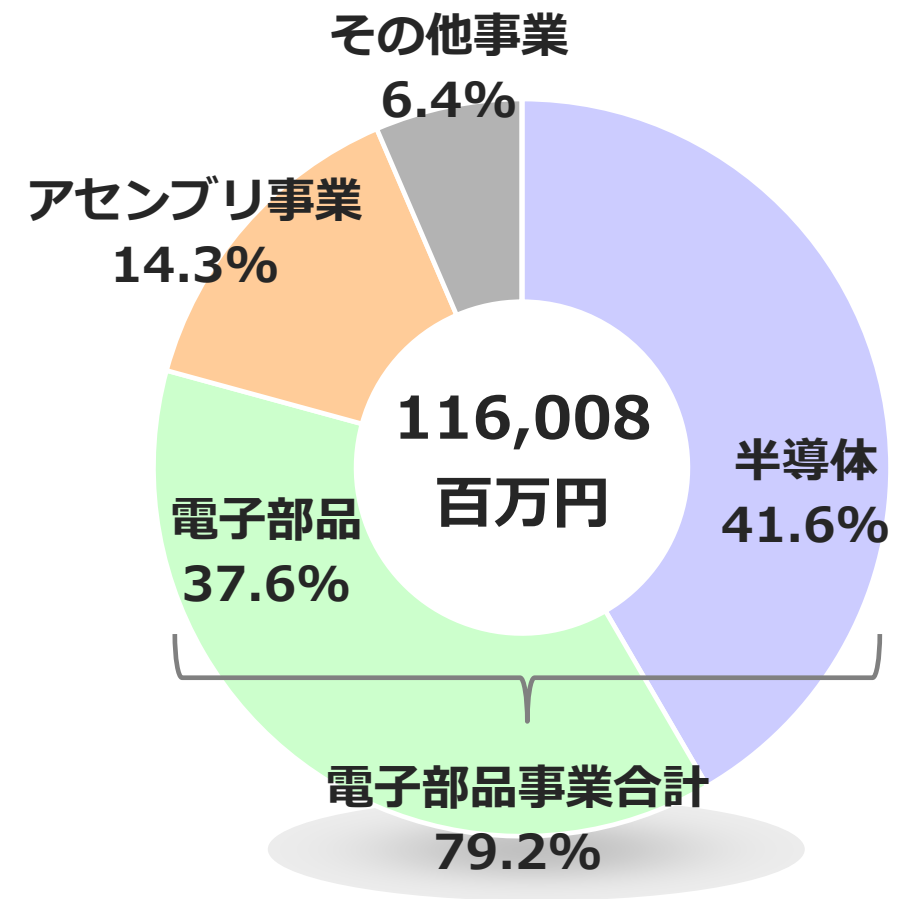


事業別売上構成

【2024年3月期】

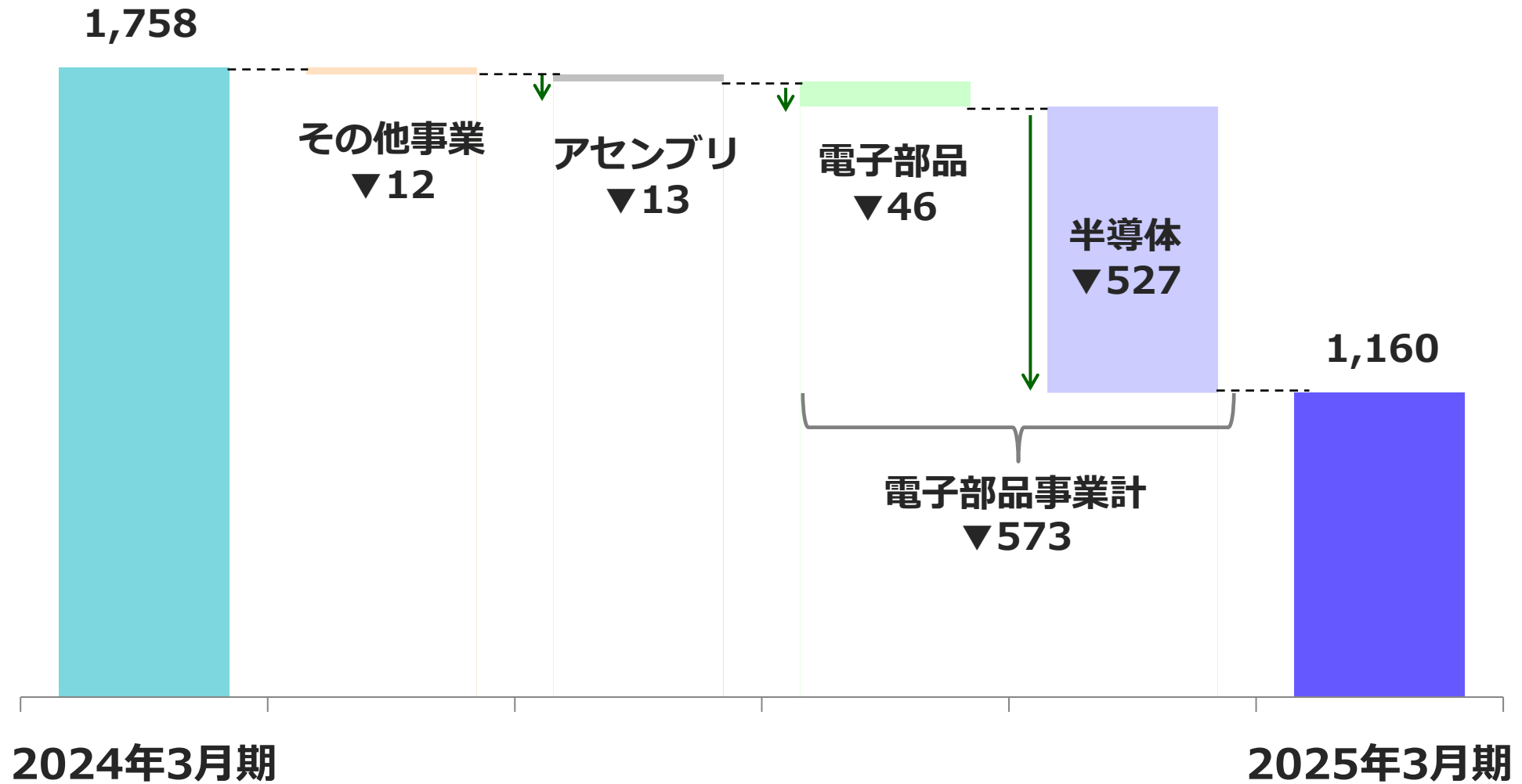


【2025年3月期】

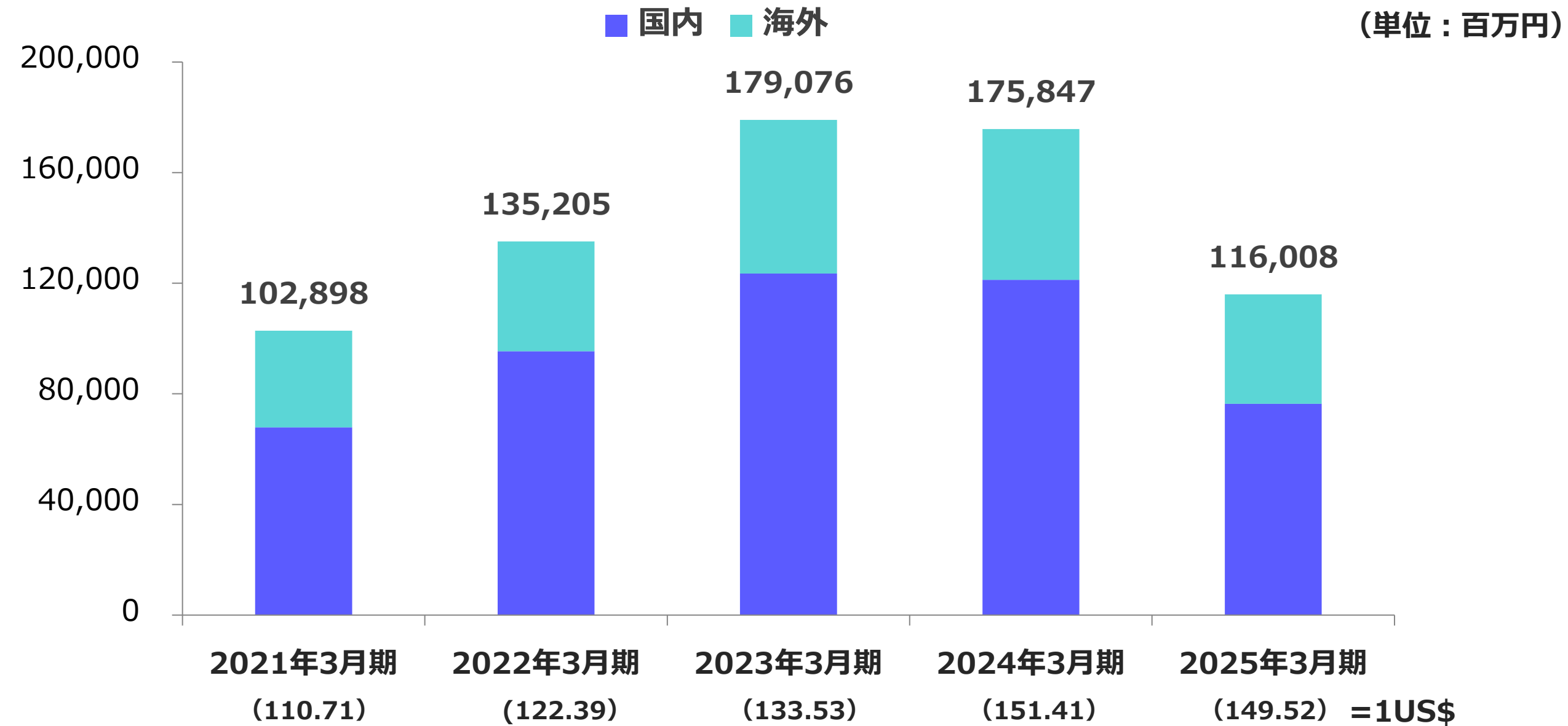


前期比 事業別売上増減

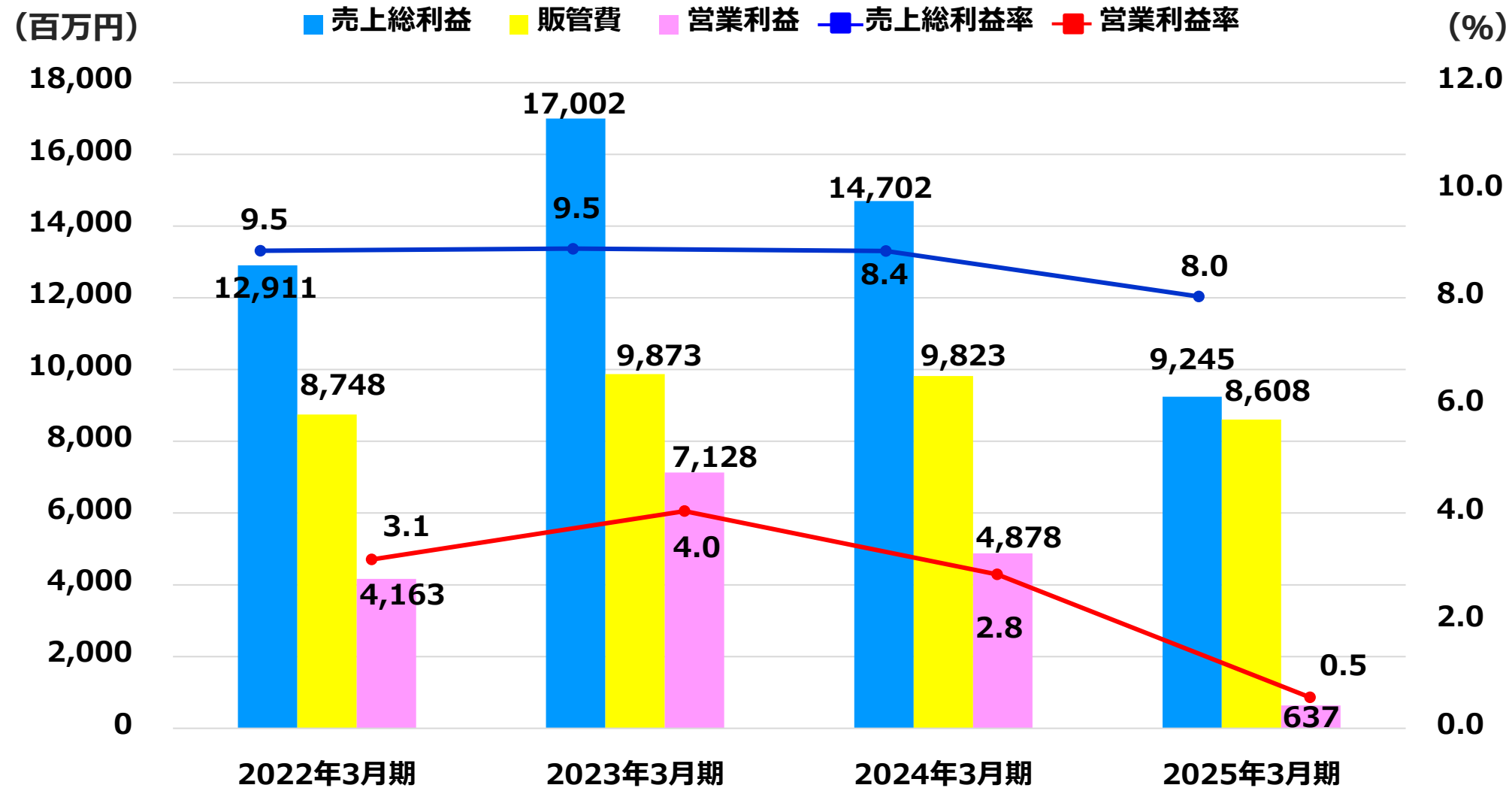
(単位：億円)



売上推移



売上総利益/営業利益/販管費 推移



要約貸借対照表① 資産の部

(単位：百万円)

	2024年3月	2025年3月	前期比
資産合計	99,813	80,051	▼19,762
流動資産	92,829	71,517	▼21,312
内、現金及び預金	13,389	28,616	15,227
受取手形、売掛金及び契約資産	36,410	16,595	▼19,815
商品及び製品	31,683	15,079	▼16,604
未収入金	11,128	7,865	▼3,263
固定資産	6,983	8,534	1,551
有形固定資産	693	651	▼42
投資有価証券	4,465	6,103	1,638

要約貸借対照表② 負債・純資産の部

(単位：百万円)

	2024年3月	2025年3月	前期比
負債合計	43,693	27,511	▼16,182
流動負債	33,401	21,255	▼12,146
内、支払手形及び買掛金	16,354	10,369	▼5,985
電子記録債務	2,400	3,213	813
短期借入金	8,982	2,270	▼6,712
1年内返済予定の長期借入金	700	3,500	2,800
未払金	1,359	187	▼1,172
固定負債	10,291	6,255	▼4,036
長期借入金	7,800	4,300	▼3,500
純資産合計	56,119	52,539	▼3,580
内、資本金及び資本剰余金	19,100	19,117	17
利益剰余金	34,518	34,020	▼498
自己株式	▼4,585	▼7,431	▼2,846
負債純資産合計	99,813	80,051	▼19,762
自己資本比率	55.4%	64.6%	9.2%

連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部

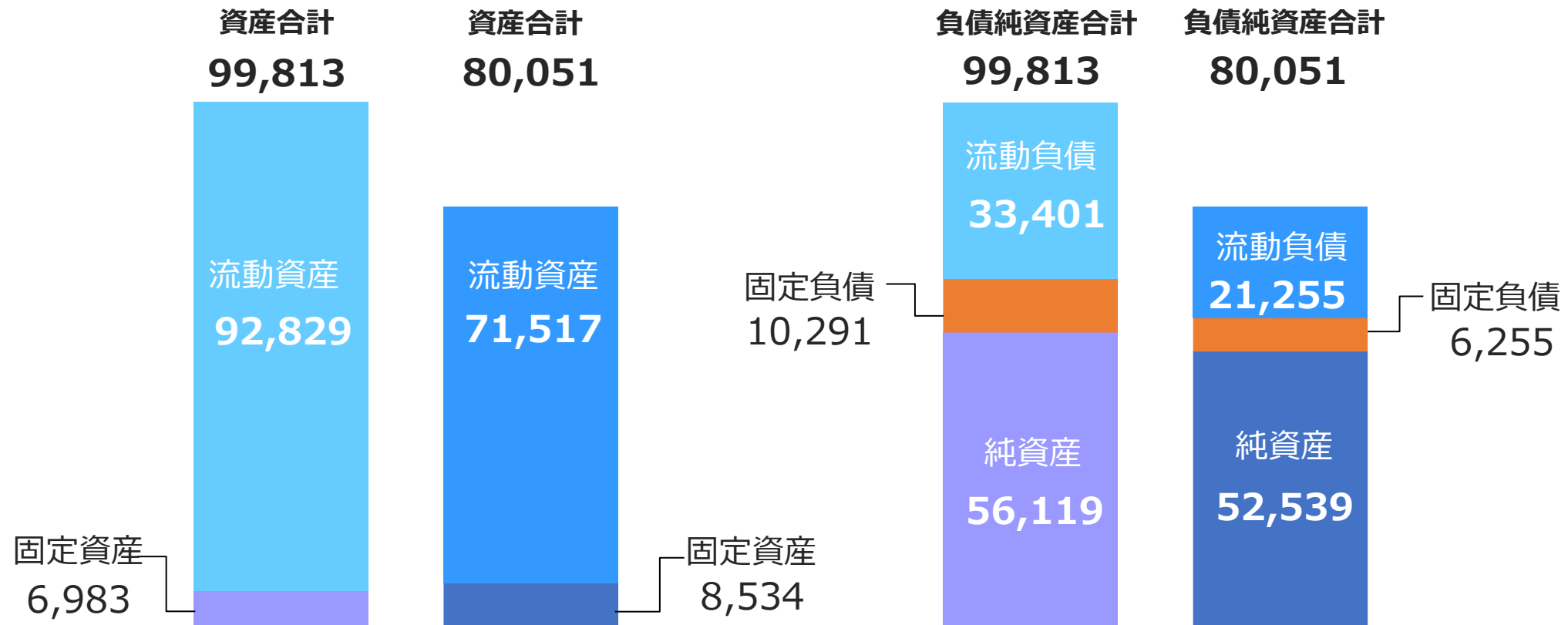
負債・純資産の部

前期末(2024年3月31日)

当期末(2025年3月31日)

前期末(2024年3月31日)

当期末(2025年3月31日)



連結キャッシュ・フロー

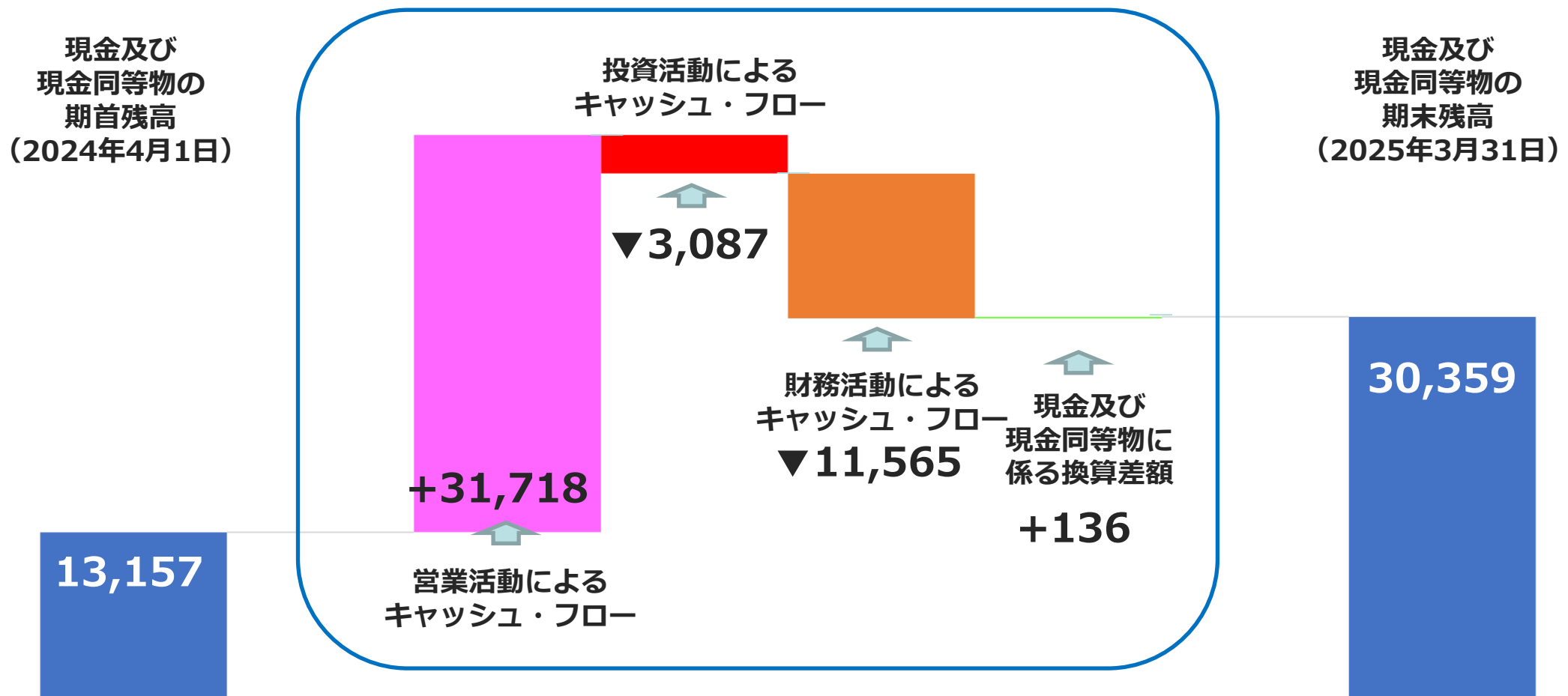
(単位：百万円)

	2024年3月	2025年3月	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,697	31,718	27,021
投資活動によるキャッシュ・フロー	105	▼3,087	▼3,192
財務活動によるキャッシュ・フロー	▼2,757	▼11,565	▼8,808
現金及び現金同等物の期末残高	13,157	30,359	17,202

連結キャッシュ・フロー計算書

当期（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）



株主様への配当

配当につきまして、連結配当性向50%を目途に実施することを基本方針としていますが、安定した継続的な配当を実施する観点から、2025年3月期の一株あたりの期末配当8円については修正を行わないことといたしました。

● 1株当たり配当金

	1株当たり配当金			連結配当性向
	第2四半期末	期末	合計	
2025年3月期実績	7.5円	8.0円	15.5円	98.4%

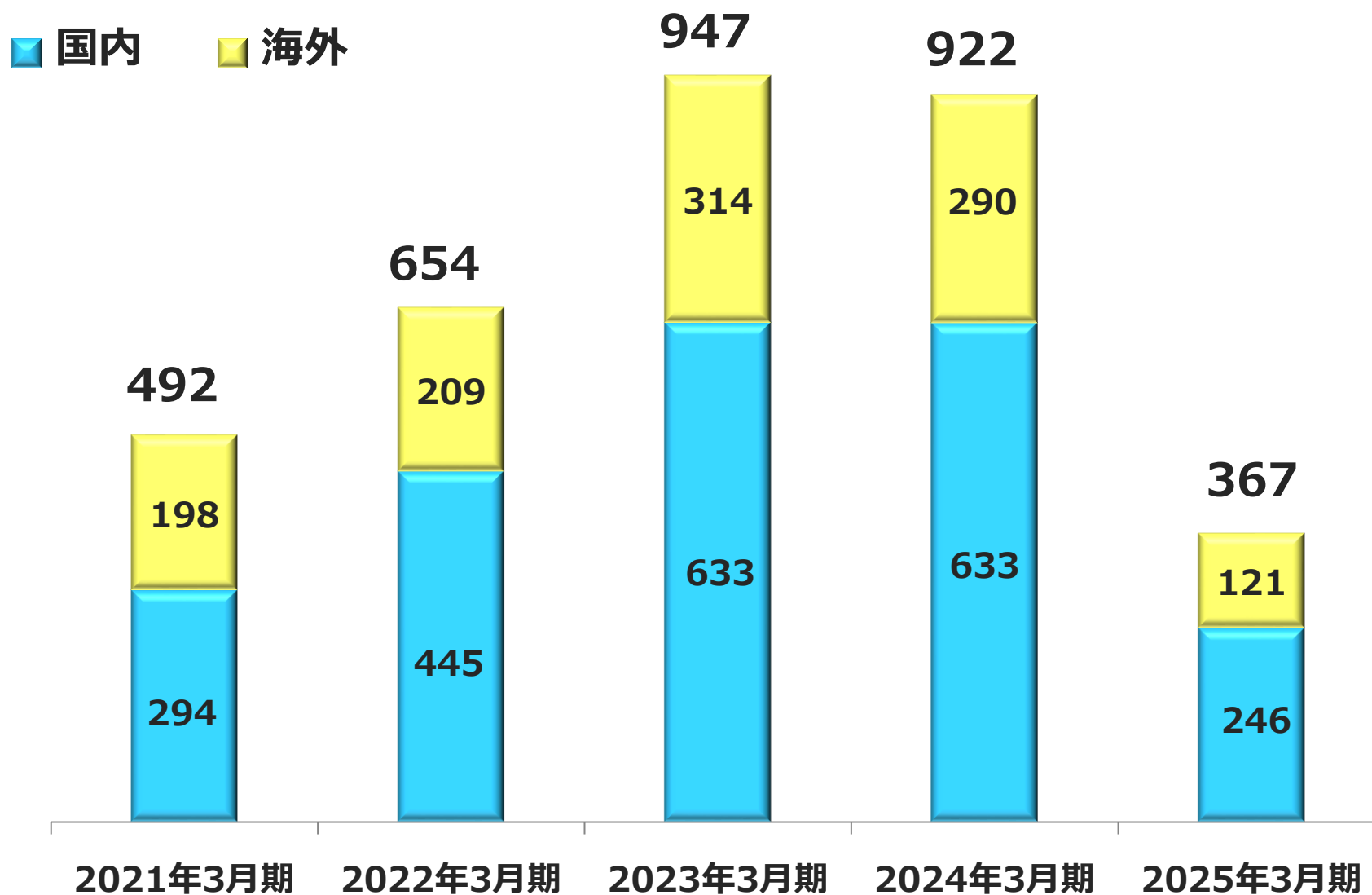
	1株当たり配当金			連結配当性向
	第2四半期末	期末	合計	
2024年3月期実績	26.5円	22円	48.5円	50.2%

当社のビジネス状況

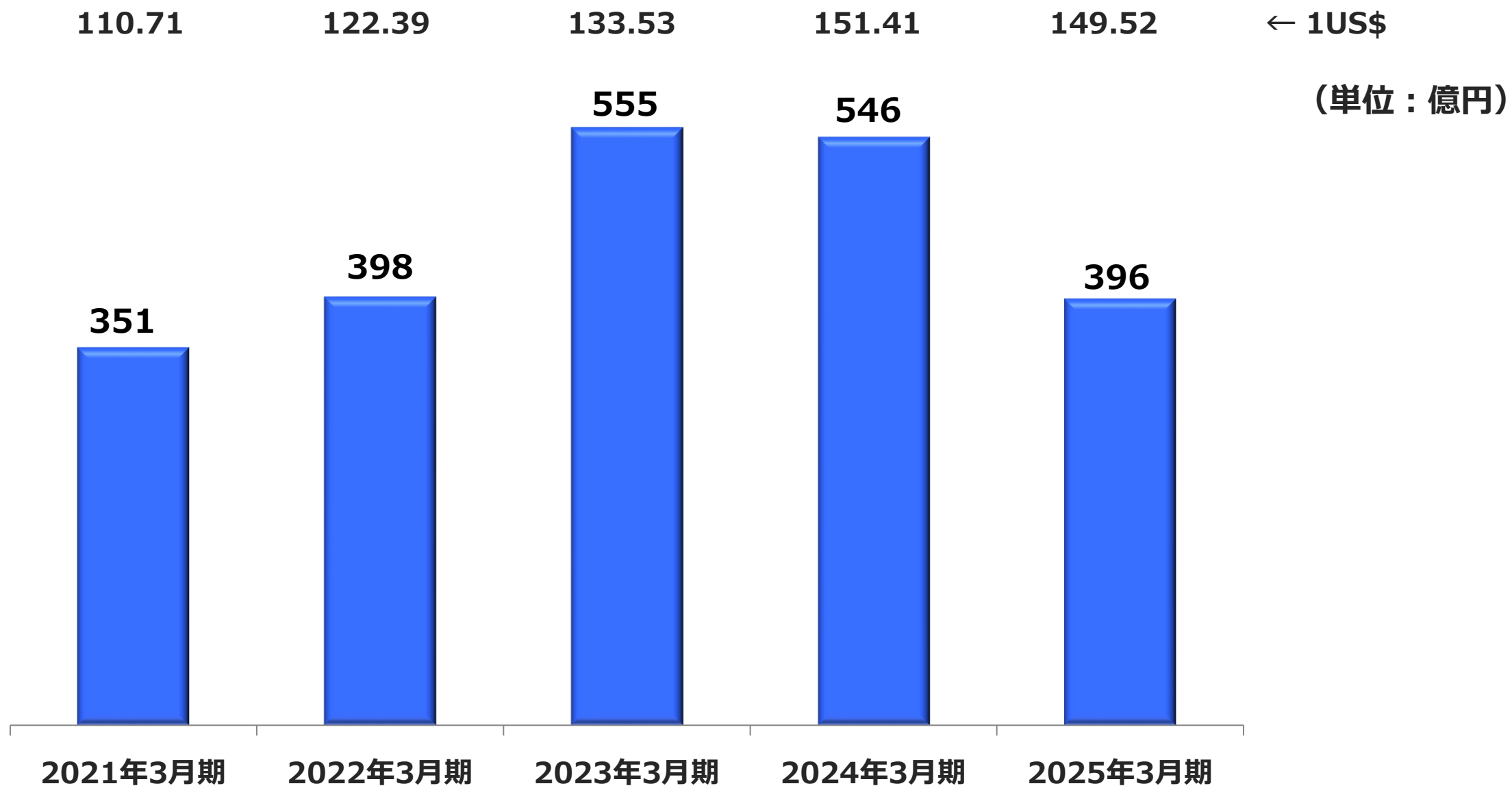
ルネサスエレクトロニクスのビジネス状況

【売上推移】

(単位：億円)



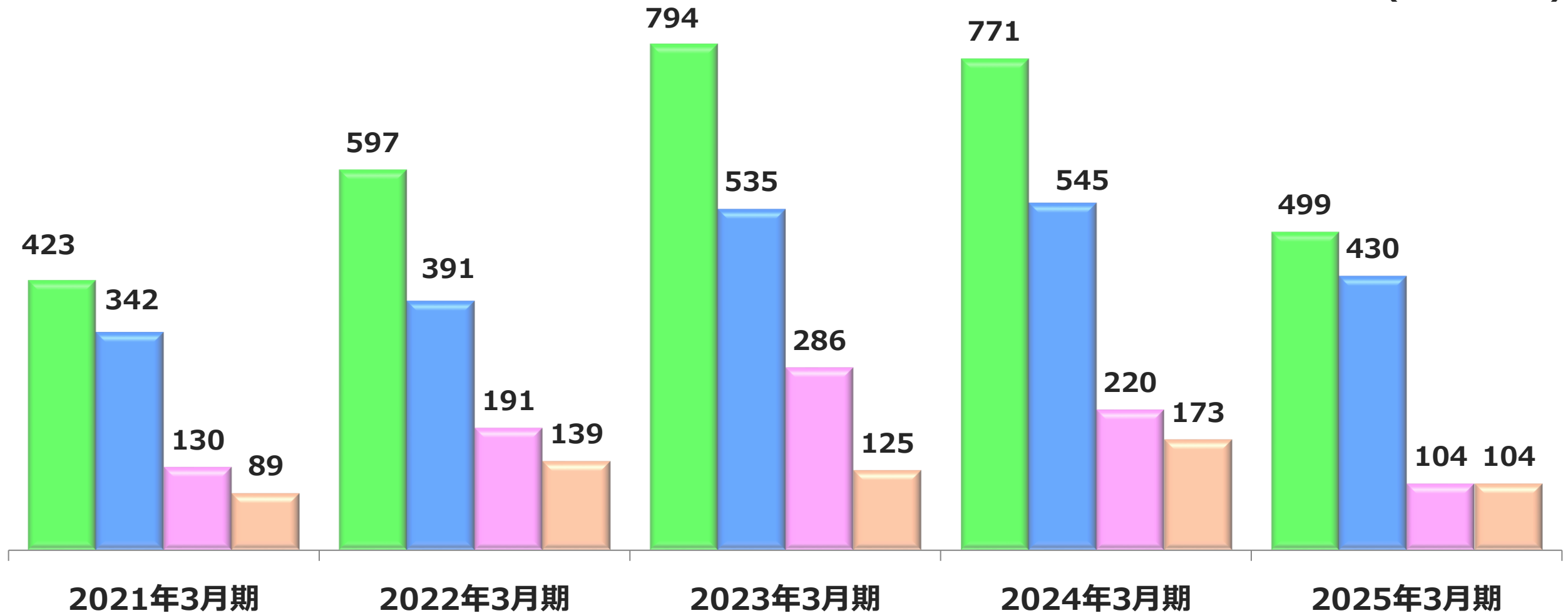
海外のビジネス状況 売上推移



当社コア・マーケットの売上推移

■ 産業機器
 ■ 自動車電装機器
 ■ O A 機器
 ■ 娯楽機器

(単位：億円)



成長戦略

- ・ソリューションビジネスの拡大
- ・新規コア商材の創出・拡充などによる新事業モデルの構築

成長戦略 当社のビジネス領域

新光商事は、お客様の成功のために、製品提供、最適物流提案はもとより、技術サポート、開発コーディネーション、EMS事業、海外展開等ご要望に合わせたビジネスソリューションをご提案いたします。
また、サービスを通して持続可能な社会の実現に貢献いたします。

新光商事がお届けするソリューション



主要なマーケット



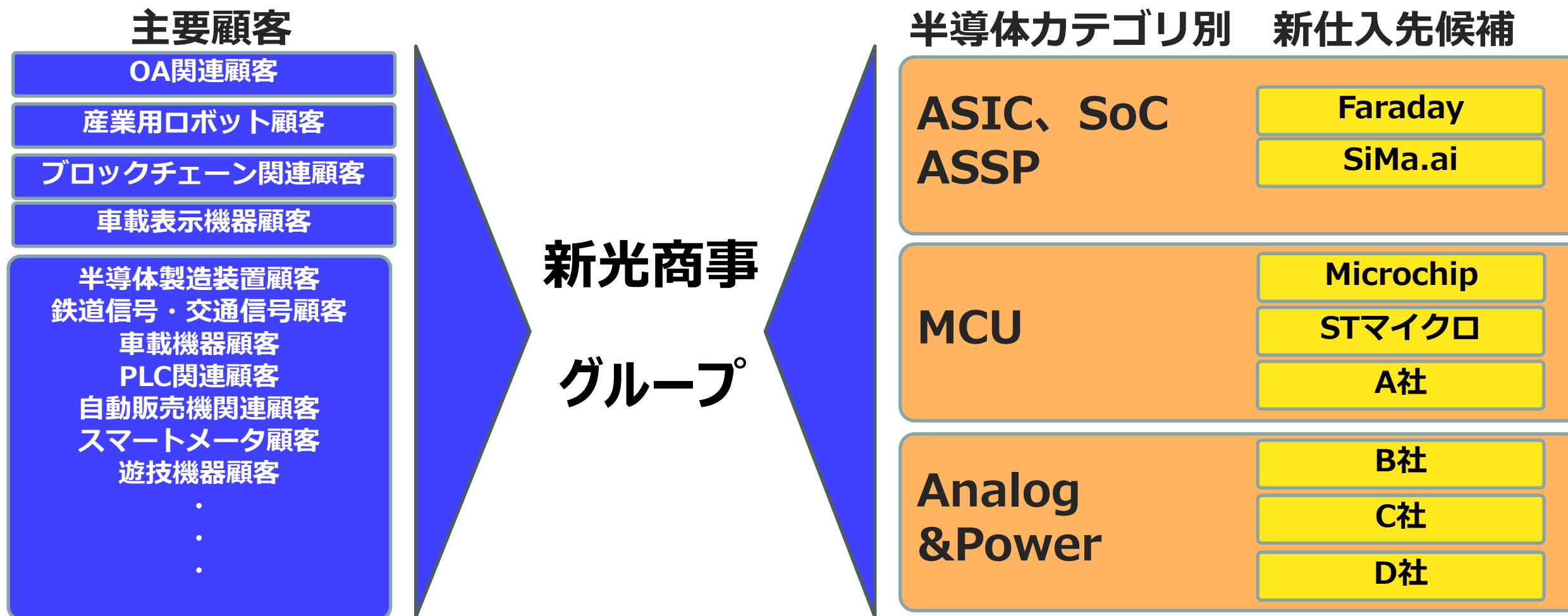
成長戦略 概要

		製品ラインナップ	
		既存	新規
顧客マーケット	既存	-CS向上- 既存顧客に向け更なるCS向上を実施しビジネスを拡大 ※CS : Customer Satisfaction	-新規仕入先開拓- 顧客が求める新たな領域に、新商材を提案
	新規	-新規顧客開拓- 国内外の現有仕入先の拡販	-新市場&新規仕入先開拓- AI/DXを中心としたソリューションを拡大

次ページ以降で、活動詳細をご説明⇒

成長戦略 新規商材の創出・拡充

新規半導体仕入先の開拓を強力に推進し、早期立上げを目指します。



既存商材の新規顧客開拓 & ソリューションビジネス開拓

既存電子デバイス商材の更なる拡販と、**新規事業**の開拓を推進します

主要顧客

OA関連顧客

産業用ロボット顧客

ブロックチェーン関連顧客

車載表示機器顧客

半導体製造装置顧客
 鉄道信号・交通信号顧客
 車載機器顧客
 PLC関連顧客
 自動販売機関連顧客
 スマートメータ顧客
 遊技機器顧客
 ・
 ・
 ・

新光商事 グループ

取扱製品カテゴリ

電子回路部品（コンデンサ/コイル/抵抗 等）

コネクタ/ハーネス/光ファイバ

LCD/LED/タッチパネル/モニタ

FAN/モーター/サーボコントローラ

ビルドアップ/アルミ/フレキ基板

メモリー/SSD/eSD/eMMC/CF

PC/サーバー/ルータ

リチウムイオンバッテリー/充電器/水素カートリッジ

DX/GX、AI/生成AI/Agentic AI、IoT

EMS事業/ODM事業

ソフトウェア開発・ハードウェア開発

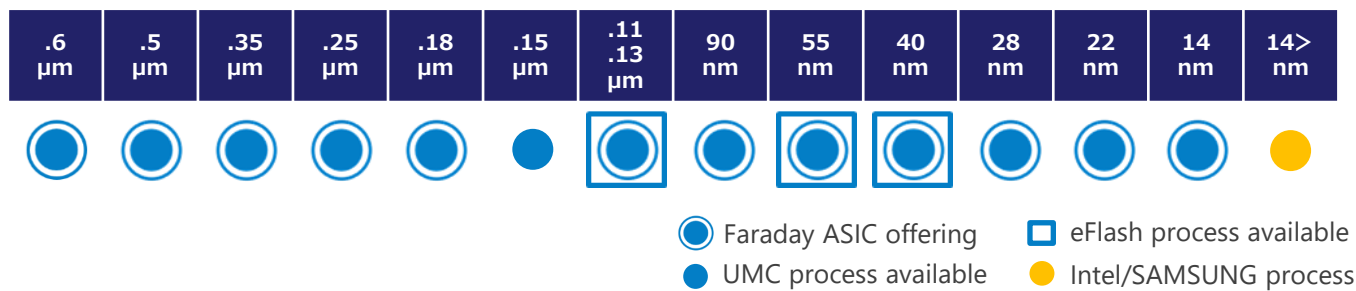
新規半導体仕入先 Faraday

**台湾大手ASICメーカーであるFaraday社商談を続々開拓中！
150億円@2027年、200億円@2029年のビジネスを目指す！**

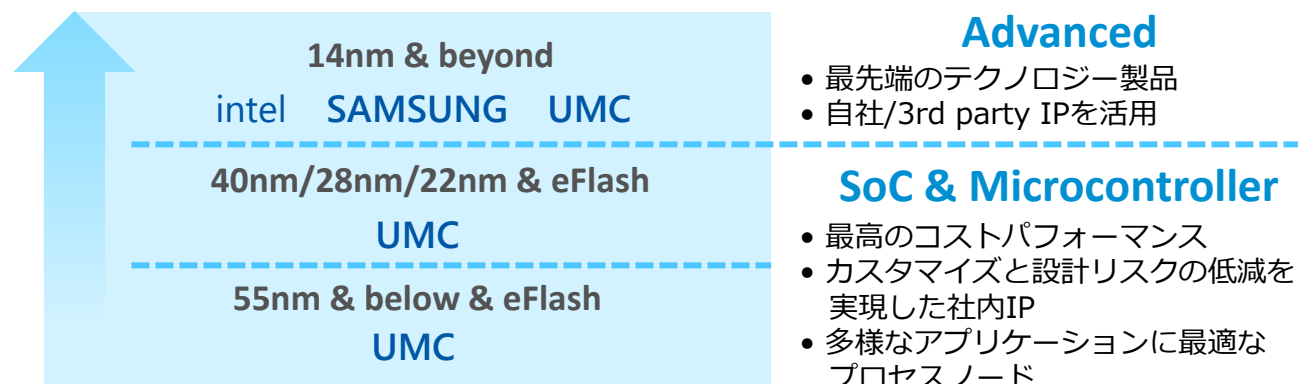
Faraday Strategic Foundry Partnership

幅広いプロセス、及び、eFlashプロセスの対応で、
お客様のご要求に応じた幅広い提案が可能

Available Processes



Foundry Partnership



Faraday Business: IP & ASIC



【当社のFaraday社関連ビジネス】

- ・ASICデバイスを販売するデバイスビジネス
- ・IPを販売するライセンスビジネス
- ・ASICデバイスを設計する受託開発ビジネス

新規半導体仕入先（中国/台湾）

日本国内からの中国/台湾 半導体, 電子部品へのニーズの高まりに応える為、当社は新たに海外製品取扱い専門部署（海外製品販売推進課）を設立。2027年 50億円の売上を目指す。

芯驰 SemiDrive（北京）中国最大手の車載コックピットICのリーディングカンパニー

中国自動車メーカー90%以上に採用され、グローバルマーケットへの採用も急速に拡大。当社が培ってきた車載経験と技術力を組合せスマートコックピットをターゲットに車載ビジネスを推進。2025年の採用を目指す。



（深圳）中国の次世代パワー半導体業界のSiC大手サプライヤ

先進的なSiCコア技術を保有。車載(EV/HEV)向け次世代インバータ、FA分野向けに採用を目指す。



31社（2025年4月時点）の中国/台湾ラインカードを活用したビジネス開発の促進

中国/台湾の半導体, 電子部品, 機構部品・S/Wパートナー等、優良仕入先を拡充。現在31社まで拡大。



戦略パートナーの締結【SemiDrive – 新光商事】



【SemiDrive】X9SP搭載 車載Cockpit

AI/DX ハードウェア ソリューション

高齢者人口増加に伴う介護施設へのエッジAI導入推進 介護職員の負担削減・夜間見守りを新AIシステムで管理

高齢者施設での現状課題

現AIは誤検知が多く 職員負担低減できず

・転倒検知での紛らわしい事例



物拾い



ベッド片付け



ベッド座位

課題解決見守システム

センサー一体型エッジAI-BOXソリューション

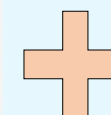


SiMa^{ai}

SiMa.ai量産ボード実装



【SiMa M.2 AIアクセラレータボード 50TOPS】



ハイパフォーマンス & ローパワー
SiMa.ai SOCにて実現

高齢者養護施設を中心にエッジAI見守システム設置のビジネス推進中！

AI/DX ソフトウェア ソリューション

当社グループ会社のノバラックスジャパン株式会社（NJ）がAIRUCA株式会社の株式取得(持分法適用関連会社化)を実施し、AIソリューションを強化しました。

●出資比率：AIRUCA社の35.39%（第三者割当増資の引受け）

●シナジー

NJの組込みコンピュータシステム受託設計技術＋AIRUCA社のAIソフトウェア・エッジ端末開発力
→シナジー効果により、新光商事グループの幅広いお客様の課題解決や社会貢献を目指してまいります。

●AIRUCA社の特徴

- ・AIソフトウェアおよびエッジAI端末の開発（画像認識や行動推定分野）
- ・2024年に大阪メディカルAI R&Dセンター開設。今後、医療画像診断分野にもAIで進出予定。

【主なAIRUCA製品・ソリューション】



多機能プライバシー保護 『AiAir Mosaic』

映像上の人物をAIが自動的に検出し、モザイク処理やシルエット化のプライバシー保護などが行えます。



転倒者検知システム 『AI-Behavia FD』

AIで人物を抽出し、転倒検知の精度向上が可能です。

ソフト設計開発×EMSビジネスのシナジー実現

当社グループ会社の新光商事LSIデザインセンター(SLD)が初の製品化！

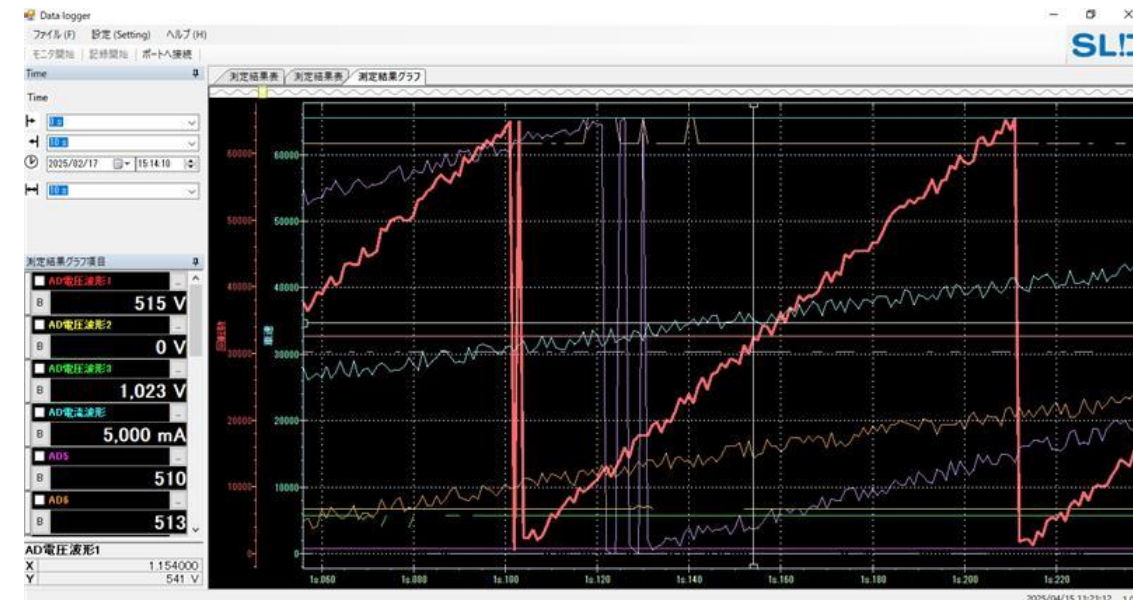
登録商標

SLD



データロガー「CANAD-0208」
2025年5月23日発売

- ・「CANアナライザ」+「オシロスコープ」を一体化
- ・CAN信号とA/D信号の同期取得を実現
- ・72時間の長時間記録
- ・CANとCAN FD対応
- ・アナログ入力250KHzの高速サンプリング
- ・解析用のViewerアプリの提供
- ・小型、軽量



Viewerアプリ画面

【対象マーケット】

- ・自動車メーカー、電装メーカー、鉄道メーカー、
- ・エレベーターメーカー、医療機器メーカー
- ・ソフト開発会社、デザインハウス、評価実験会社等、CAN通信を使用しているマーケット。

レスター株式会社との資本業務提携について

2024年10月 レスター株式会社との資本業務提携を発表

●資本提携内容

レスター社	普通株式	550,000株	(総額約 15 億円)
新光商事	普通株式	1,550,000株	(総額約 15 億円)

●業務提携対象事業

- ・半導体、電子部品、電子機器を含むデバイスの販売及び実装に関する事業
- ・ソリューションサービスに関する事業
- ・ソフトウェアの受託開発等に関する事業
- ・EMSコーディネートに関する事業

●期待するシナジー効果

- ・販売ネットワークの拡充
- ・製品ポートフォリオの拡充
- ・技術協業及び体制強化
- ・EMSコーディネートの推進によるソリューション提案の強化



今期の見通しについて

2026年3月期の業績見通し

(百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 見込	前期比 (%)	前期比 (金額)
売上高	116,008	100,000	▼13.8%	▼16,008
営業利益	637	700	+9.8%	63
経常利益	578	700	+21.0%	122
親会社株主に 帰属する 当期純利益	505	550	+8.9%	45

2026年3月期の株主還元について

配当につきまして、連結配当性向50%を目途に実施することとして、通期業績見通しに基づき下記の通り予定しております。

● 1株当たり配当金

	2026年3月期 予想
第2四半期	4円50銭
期末	5円00銭
年間	9円50銭
連結配当性向	51.4%

中期経営計画

●経営方針

『変革の時代の中で、多様なエレクトロニクス商材・サービス等の提供を通じ存在価値を高め、進化する電子部品商社グループを具現化する』

●経営戦略（成長に向けた重点施策）

- (1) 事業ポートフォリオの再構築（含、戦略的パートナーシップ企業との共創）
- (2) 新規コア商材の創出・拡充、既存優良仕入先商材の更なる拡大
- (3) エリア戦略、新規事業領域の開拓・創出を目的とした成長投資、M&A
- (4) 資本コスト、株価を意識した経営に向けた対応（PBR 1 倍以上に向けて）
- (5) 人的資本への投資（多様な人財の採用、教育研修投資、従業員エンゲージメント向上）
- (6) 環境に関する取り組み（2050 年カーボンニュートラルに向けて）

●重要な経営指標

経営指標	2028年3月期
売上高	1, 7 0 0 億円
当期純利益	4 5 億円
R O E	8. 0 %以上

連絡先

新光商事株式会社

取締役 一色 修志

E-mail: ml_info@st.shinko-sj.co.jp

問い合わせ先 : <https://shinko-sj.co.jp/inquiry/ir/>

住所 : 〒141-8540

東京都品川区大崎 1-2-2

アートヴィレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <https://www.shinko-sj.co.jp/>